

本時のねらい

2つの集団の資料をもとに、どちらの記録がよいといえるのかを話し合うことを通して、平均値で求めたり、資料のちらばりの様子の違いに気付いたりすることができる。

本時の展開

6年生 算数

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5分)	1. 2つの資料を提示する。 (資料を提示して)「どちらの組の方が記録がよいと言えますか。」	★図書館へ提案する目的意識を持つ。 ●一つ一つの記録をカードにし、後で移動しやすいようにしておく。(しかけ1)
展開 (35分)	2. 2つの資料を比較検討する。 ①自力解決 ・○組だと思います。 ・理由は…。(式、数、図、言葉で表現する) ②ペアで交流 ・結論→理由を説明する。 (資料のどこを見たのか根拠をはっきりさせる) ③全体交流 <予想される考え> ◎平均 ・最高記録と最低記録、その差 ・2組…距離が長い人が多いけど、距離が短い人も多い ・3.5m以上の子の数 ・上位5人で比較 など	●自由な観点から比較しようとしている姿を認める。 ◎平均は2.9mで同じになる。(しかけ2)では、「2つの組の記録は同じと言える」という結論でいいのか問う。 ●ちらばりがわかるように、図に表すことができないかを問う。
まとめ (5分)	3. わかったことをまとめる。 「今日は何のようなことが分かりましたか。」 ・平均が同じでも、ちらばりを見ると特徴の違いが見える。 ・複数の視点から資料を見ることが大事。 など	●時間があれば、「自分の考えが変わったこと、友達のかえで納得したこと、資料を見るときに大切にしたいこと」も振り返りとして書かせる。





本時のねらい

給食の食材について考え、白地図に産地をまとめる活動を通して、自分たちの食べているものの産地を知り、その特徴について知ることができるようにする。

5年生 社会

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5分)	1. 食料に目を向ける。 →給食の写真を見て、どんな食材が使われているかを確認する。 →自分たちの食料がどのように運ばれているのかを予想する。 めあて：食料の産地からわかることを考えよう。	★ ●指導者が間違った産地を言うことで、産地に着目することができるようにする。 【しかけ：仮定する】
展開 (30分)	2. 食料の産地を調べる。 →スーパーのチラシの産地を白地図に書き込む。 ・食料の種類で分担する等、班で協力して取り組む。 →白地図からわかることや気づいたこと、特徴を話し合う。 ・それぞれの食料がどの地域で多いのかに気づく。 ・日本の地形が関係していることに気づく。 →全体で交流する。	★自分自身で調べることを明確にし、資料を探すことで、目的をもって主体的に取り組むことができるようにする。 ●色分けをするよう助言することで、産地の特徴に気づくことができるようにする。 ●一人学びの時間を設定することで、考えを整理することができるようにする。 ●共通点、相違点に着目して話し合うことで、交流内容を明確にする。 ●振り返る内容を提示しておくことで、聞く視点を確認する。
まとめ (10分)	3. 振り返る。 →全体交流から学んだことを自分の言葉でまとめる。	★ ●交流した内容を掲示しておくことで、振り返りを書くことができるようにする。







